大阪城

2020 9/14 (月) 14:02 ㌻

全港湾 西成分会

ごんわ 6647-4947

夜明けが遅くなり、秋の夜長になってきている。一日、一日、秋らしさがふえている。長袖姿もふえていくことだろう。

今日、自民党内部のトップ。総裁が決まるようだ。一日おいて、16日(水)には臨時国会で国会議員たちの選挙で、首相が決まる。秋田出身の菅首相だとの予想である。

(元)自民党の幹部で、警察官僚だった亀井氏の評価では、菅氏は「国家論や歴史観がなく秋田からの出縁で、庶民派」であるといっている。それが、当っているか、どうかはわからないが、無名のなにもない存在から、いろんな苦労、努力もして政治の権力の階段をかけ上ってきたのは事実だろう。ごくろうさんなことでもある。

アメリカでは、戦争もしないのに、20万人近くが、一万分の一ミリほどのタンパク質の微粒子によって死んでいる。日本でも死者は1500人を超えようとしている。

170年ほど前のペリーの黒船来航のときより、今の日本のおかれている情況は厳しく、困難である。

それがわかって政治をやるのかどうかだろう。

今日自民党総裁選挙・菅官房長官が新総裁

派閥談合丸出しで、やる前にきまってる茶番劇

先月28日突然辞任した安倍総理の後継をきめる自民党の総裁選挙が今日行われます。

すでに5つの派閥、加えて無所属グループも安倍政権の菅官房長官を支持表明して8割近くの国会議員が投票するのでやる前にきまっているデキレースとなっているので、他の2候補の負け方勝負だけが多少関心が残るわびしい内容です。

コロナ禍の実態、緊迫する国際情勢、乱れる政治家と官僚の犯罪が連続しており、安倍1強体制でつもった悪行はを引き継ぐ菅政権は短命だと指摘する人が多いです。

総会後首班指名を受けて、組閣人事して、解散・総選挙に向かうことだろうが、派閥の大臣のいすをめぐる派閥抗争が始まりそうで、本当に日本はだいじょうぶかいなという思いがします。